

”この一年”の Web 化にあたり

2020 年の始まりとともに突然発生した COVID-19 の感染は、まる 2 年がたつ現在もいまだ収まる気配がみえません。このような状況が起こるとは誰も予想しなかったことで、あたかもパニック映画の中に自分が取り込まれたような感覚さえ覚える状況です。長い人類の歴史のなかで新しいウイルスのパンデミックは繰り返されてきたはずで、それを何度も乗り越えて現在の我々があるわけですから、きっと今回の COVID-19 感染も近々収まってくれることと確信しております。

ところで、1994 年から“この一年”として、消化器血液内科の現状と発展を冊子体にまとめてお届けしてまいりました。新入医局員の紹介や学位論文の披露、学会活動の記録などをまとめた同門会誌としての位置づけであると思います。ただ、印刷体では情報漏れや間違いの訂正も困難なことも多く、また経費の削減にもつながるため、教室ホームページの刷新にあわせて、“この一年”を完全に web 配信することと致しました。滋賀医大のホームページにアクセスする必要がありますが、慣れてしまうとそれほど手間にもなりません。また、情報はあとから簡単に修正できますので、いつでも医局のほうに連絡ください。

COVID-19 の長いトンネルももうすぐぬけると思います。年内には、血液内科の教授が決まり、新しく血液内科が独立して再出発の予定です。そのころには、もとの日常がもどり、新しい血液内科教授を迎えて消化器血液内科同門会の先生方と対面でお会いできることを楽しみにしております。

令和 4 年 3 月吉日 教授 安藤 朗